

福岡県共助社会づくり事業 成果等報告
(平成 23・24 年度 新しい公共の場づくりのためのモデル事業)

1. 成果等報告

モデル事業名	三池炭鉱 掘り出し物語パート1・パート2
分類	一般枠 NPO等支援重点化枠 震災対応枠
事業実施 主体名	三池炭鉱 掘り出し隊 <構成団体> ・NPO法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ ・大牟田美術協会、 ・万田坑ファン倶楽部 ・大牟田市市民協働推進室地域コミュニティ推進課)
実施期間	(H23年度) H23年10月1日～H24年3月31日 (H24年度) H24年7月1日～H25年3月31日
支援額	(H23年度) 支援額5,000,000円/総事業費5,000,000円 (H24年度) 支援額5,000,000円/総事業費5,266,723円
マルチステークホルダー (会議体)の取 組状況	会議体は大牟田商工会議所、大牟田経済倶楽部、大牟田観光協会、石炭産業科学館、(株)サンデン、三池炭鉱掘り出し隊により構成される。会議体の開催数は1回。会議体からは、「大牟田 香りの風景～ふるさとの香り作り～」、「炭鉱のまちの色を探そう～三池炭鉱のクレヨンづくり～」などの市民参加のイベントを通して制作したサシェ(香り袋)やクレヨンの商品開発に対する意見を頂いた。H24年11月3日に開催した近代化遺産一斉公開デーの際には、サンデンを会場としてクレヨンと香りのワークショップを行った。この時に会議体の構成団体から貴重な意見を頂いた。一例として、三池炭鉱掘り出し隊の活動が助成事業終了後も継承されるように、核となった大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブの経営安定を目的とした認定NPO(寄付金控除制度)取得について、DVDの活用法等も併せて、積極的に取り組むよう助言を頂いた。
事業概要	大牟田市・荒尾市の地域の宝(遺産)である三池炭鉱関連の近代化産業遺産について、本事業で実施するイベントや調査を通して、市民周知を図った。 石炭とそれに基づく工業で繁栄した大牟田市・荒尾市の歴史を掘り起こす過程の中で、市民の誇りを育んで行くことを目指し事業を実施した。平成23年度の「掘り出し物語パート1」はワークショップと市民啓発の資料作りに重点を置き、H24年度の「掘り出し物語パート2」は商品開発や調査資料(印刷物・DVD等)作成を行うことができた。
事業内容	1 事業内容 ・郷土のすばらしさを掘り起こし、商品開発によるNPO等の財政基盤の確立を図るために、「色」「香り」の二品目の商品開発を行った。 「炭鉱のまちの色を探そう～三池炭鉱のクレヨンづくり～」事業 H23年12月11日 中学生・一般市民対象のワークショップ(参加者20名) H24年11月17日 小学生対象のワークショップ(参加者22名) H24年度は、「黒」については県工業試験場の助言を得ながら、石炭の微細分を混ぜて制作した。また、クレヨンの使用法を紹介したリーフレットを組み入れるなどクレヨンセットの商品性を高めた。700箱制作

<p>事業内容</p>	<p>「大牟田 香りの風景 ~ふるさとの香り作り~」事業 香りをパーミスに吸収させ、香り袋(サシェ)として商品開発した。 H23年12月18日 高校生対象のワークショップ(参加者25名) 近代化産業遺産や郷土の自然の素晴らしさを香り体験することにより、郷土の再発見を目指した。「レンガ-記憶」「光-むつごろう」「龍-山」の3種類を各500個制作した。 H24年11月3日 クレヨンと香りの合同ワークショップ(参加者320名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県域を越えてNPO等のモデル的な活動を行った。 「日本の近代化産業遺産群 九州・山口および関連地域」のH27年度世界遺産登録が現実味を帯びている。構成資産のうち、三池炭鉱関連施設は万田坑・宮原坑・三角西港・三池港・三池鉄道であり、万田坑は熊本県荒尾市、三角西港は宇城市に所管されている。県を超えて連携し、世界遺産登録を支援する取り組みを行った。荒尾第二造兵廠とは三池炭鉱の石炭化学コンビナートとして誘致された陸軍の火薬工場を主体とした造兵廠のことである。 H23年度「荒尾第二造兵廠リーフレット」15,000部 H23年度「三池炭鉱概要パンフレット」10,000部 H24年度「荒尾二造ウォーキング・サイクリングマップ」8,500枚 H24年度「万田坑聞き書(改定版)」400冊 マップ、パンフレットはウォーキングイベントなどで配布した。 ・ 世界遺産登録を応援する市民の機運づくりを推進した。 H24年3月18日 講演会開催(参加者80名) 「大牟田・荒尾の産業都市計画~石炭化学コンビナートによる都市形成~」 H24年8月25日 「四ツ山配水池(熊本県荒尾市星穂)」の調査 大正時代に建設された配水池(DVDで紹介)であり、京都大学河野広隆教授(社会資本維持管理が専門)から土木遺産としても貴重との評価を受けた。 H24年9月23日 「明治時代の炭鉱の世界を学ぼう~世界記憶遺産 山本作兵衛の世界~」田川市移動学習(参加者38人事務局5人) 山本作兵衛の絵画等を世界記憶遺産登録に導いた田川市民の炭鉱に対する思いを学び、シンポジウムにも参加した。 「DVD 三池炭鉱掘り出し物語」200枚制作 三池炭鉱プロモーションのDVDを制作した。近代化産業遺産の市民啓発、認定NPO(寄付金控除制度)取得のための寄付者への説明用として制作した。軍艦島のDVD制作に携わったオープロジェクトに制作委託。11月2日・3日の両日に撮影チーム来訪。DVD制作の費用が、当初予算では不足するので、ビデオカメラ・録音機材一式の購入は見送った。 「炭鉱マンの作業服」の復元 作業服の復元を通して洋裁のできる婦人等、世界遺産の応援に係わる人の輪を広げる仕組みを作ることを目指した。石炭産業科学館から借用した炭鉱マンの作業服から型紙を制作。1着を復元した。数年かけて、夏祭りの「炭坑節 市民総踊り」で披露できる体制を作る。 <p>2 事業実績 ほぼ計画どおり実施できた。DVD作成については当初200枚を1000枚に増刷することも検討したが、認定NPO(寄付金控除制度)取得に活用するという目標を達成するためには、ファンクラブ通信1~27号を焼いたDVDとの2枚組配布が効果的と判断した。2枚組パッケージのデザインなど、作業が必要であ</p>
-------------	--

	<p>り、次年度に制作することとした。</p> <p>3 実施方法 イベント系の実施に当たっては、参加対象を設定し、参加者が無理なくワークショップを楽しめるように工夫した。講演会については、一般市民を対象として広く参加を呼びかけたが、大牟田経済倶楽部・三井関連の企業グループ・市役所の建築土木の技術職員などに対しては、重点的にPRを行った。マップ、パンフレット、「万田坑聞き書(改定版)」等の印刷物は地域活動を行っている団体や個人との連携を図り作成した。</p> <p>4 実施の分担 事業は直営で実施し、クレヨンや香り作り、DVD制作では一部委託を行った。事業を実施する過程で、大牟田美術協会、万田坑ファン倶楽部など三池炭鉱掘り出し隊の構成団体以外にも、荒尾二造市民の会、東洋美術学校などの団体とのネットワークが形成され、それが事業の成果にも生かされた。</p>		
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>世界遺産登録を応援する市民の機運づくりの推進を目的として2年間実施した多様な事業は新聞紙上でも紹介され、多くの市民から評価を頂いた。課題である会の財政基盤を安定させるために、認定NPO(寄付金控除制度)取得の宣伝媒体として成果品を活かし、H25年度には、認定NPOへのステップアップを図る。助成事業終了後も三池炭鉱で暮らした人々の心と歴史を掘り起こす活動を継続していく道筋が明らかになった。今後、県が開催する支援企業との出会いの場に積極的に参加し、支援企業の拡大を図る。本事業はNPOのニーズにあった有効な事業であった。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 1229 536 1328"> <p>評価 ランク</p> </td> <td data-bbox="542 1229 1441 1328"> <p>S：特に優れた成果が得られた A：優れた成果が得られた B：一定の成果が得られた C：限定的であるが成果が得られた D：成果が得られなかった</p> <p>該当する評価にチェックしてください。</p> </td> </tr> </table>	<p>評価 ランク</p>	<p>S：特に優れた成果が得られた A：優れた成果が得られた B：一定の成果が得られた C：限定的であるが成果が得られた D：成果が得られなかった</p> <p>該当する評価にチェックしてください。</p>
<p>評価 ランク</p>	<p>S：特に優れた成果が得られた A：優れた成果が得られた B：一定の成果が得られた C：限定的であるが成果が得られた D：成果が得られなかった</p> <p>該当する評価にチェックしてください。</p>		

2. 添付書類
- ・三池炭鉱写真集 - 万田坑聞き書き - (改訂版)
 - ・サイクリングルートマップ
 - ・炭鉱のまちの色を探そうチラシ
 - ・新聞記事
 (別添)三池炭鉱掘り出し物語DVD
 大牟田のいろ(クレヨン)
 香りのサシェ